長崎市立長浦小学校だより No.13

笑顔で“できる”

発行日：令和５年３月１６日
文　責：校長　椋本博志
今日は卒業証書授与式です。６年生の皆さん、おめでとうございます。

ふるさとは、君たちの夢を応援している！

卒業証書授与式の校長式辞です。

＜式辞＞

厳しい冬の寒さを乗り越え、校庭の桜、花壇の花々はつぼみを膨らませ、春の訪れを感じさせます。

この良き日に、多くの来賓の皆様をお迎えし、ここに長崎市立長浦小学校第70回卒業証書授与式を挙行できますことを卒業生と共によろこび、感謝申し上げます。本日は誠にありがとうございます。

保護者の皆様、お子様のご卒業、心からお喜び申し上げます。卒業という節目を迎えられ、感慨もひとしおのこととお察しいたします。お子様もいよいよ中学生です。人生において大事な時期であり、親としては大変難しい時期に入ります。楽しみも多い反面、悩みを抱えることも多くなると思いますが、悩みのない子育てはありません。親としてともに悩み、ともに育つという姿がお子様に希望や勇気を与えます。ぜひ、お子様の夢を支える一番の理解者であってください。これまで本校教育に頂戴いたしましたご厚情に篤くお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

さて、本校から巣立ちゆく十三名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。心からお祝いいたします。皆さんは、この一年間、多くの行事や日々の活動で、長浦小学校をリードしてくれました。皆さんの、何事にも集中し努力すること、最後まであきらめず続けることは、長浦小学校のよき伝統として、下級生に引き継がれていくことでしょう。

卒業生の皆さん、世の中とは厳しいものです。いつも成功する、うまくいくとは限りません。人は、何度となく、失敗したり、うまくいかなかったりします。長い人生、つらいことや苦しいことも多くあるでしょう。そのときに、思い出してほしいのです。このふるさと長浦・尾戸を！

ふるさとには、皆さんの家があります。そこには愛する家族がいます。

そして、ふるさとには母校、長浦小学校があります。ここには様々な体験を共にし、思いを共有した仲間がいます。

そして、この素晴らしい地域。総合の時間で行った、夏のペットボトル筏体験

や秋の蜂蜜農家での体験はこのふるさとの豊かな自然があってこそです。

さらに、人情味あふれる地域の皆さん。芋さしやスイカ作り、米作りなど体験活動をするときには君たちをいつも温かく支えていただきました。

私がふるさとを学ぶことにこだわるのは、ふるさとには愛すべき人・物・ことがあること、「ふるさと」とは自分を元気に笑顔にしてくれる場所であることを体感してほしいからです。

最後に、私の大好きな嵐が歌う「ふるさと」の一節を、皆さんに贈ります。

♪雨降る日があるから虹が出る
苦しみ抜くから強くなる
進むべき道も夢の地図も
すべては心の中にある
助け合える友との思い出を
いつまでも大切にしたい
進むべき道も夢の地図も
それはふるさと
僕のふるさと♪

卒業生の皆さんのそばには常にふるさとが、そしてふるさとの皆さんの笑顔があります。ふるさとは、いつも優しく、皆さんの夢を応援しています。

このふるさと長浦・尾戸に誇りと愛着を持ち続け、夢に向かって自らの未来を切り拓く皆さんであることを祈念して、式辞といたします。

令和　5年　3月16日
長崎市立長浦小学校
校　長　　椋本博志